

議会報告会報告書

開催日時	平成27年11月11日（水）午後7時		終了：午後8時24分
開催場所	吉野谷公民館 2階 研修室		
対象団体	山ろく地区町会区長会協議会		
参加人数	61人		
班構成	A班	吉本 史宏、石地 宜一、安田 竹司、寺越 和洋 吉田 郁夫、竹田 伸弘	
役割分担	リーダー：竹田 報告：当初予算・議会概要－竹田、主な事業（総務）－石地、（文福）－吉本（産建）－吉田、市議会8月会議概要－安田、白山市の災害－寺越		

（質疑応答）

（質問1）

白山ろく地域では100万円を超えるような除雪機械でないと克雪に対応できない。個人での除雪機械の購入等に関する市の補助率は1/4になっており、負担が大きいため購入できない方がいるので、検討願いたい。

（答 弁）

補助制度の見直しについては執行部に伝える。地域からも要望を出してほしい。

（質問2）

有害鳥獣対策について、市では電気柵等の設置補助や県への働きかけなどに取り組んでいるが、小松市など周辺自治体の制度も参考に検討してほしい。

（答 弁）

J Aと意見交換を行い、有害鳥獣被害の実情を聞かせていただいた。市では捕獲柵の設置などの対応をしているが、猿等も知恵があり対応にあぐねている状況。白山市と周辺自治体の補助に関しては、最低限同じ水準にするように伝えたい。

（質問3）

市民サービスセンターが一律に公民館に入ることを聞いている。市民サービスセンターが入ることで、公民館が手狭になり文化祭等の大きな行事の開催を懸念している。それぞれの公民館の実情を考慮して、区長会や公民館長と検討してほしい。

（答 弁）

組織機構の見直しについて、議会から執行部に対し地元と協議しているのか、必ず確認しており、執行部からは協議をしていると説明を受けている。このような話については執行部に伝えたい。また、サービスセンターの機能は残していくので、町会長とサービスセンター長と十分に協議してほしい。

(質問4)

白嶺小学校について、角市長から複式学級にしないという条件で建設に了解したが、現在は児童数が少なく複式学級になっている。通学範囲を見直し、白嶺小学校を守っていくことを検討してほしい。

(答 弁)

白山ろく地域における小・中学校の通学区域については、大きな課題になっている。平野部においても少子化、市街化でアンバランスな地域も出てきており、過去に想定した児童数と現状ではかい離している。地元の意見を十分に聞きながら、実態を参考に議会でも議論していきたい。

(質問5)

白山ろく地域は高齢者のみ世帯が多いため、音が聞こえにくい方が多いことや、熊などの有害鳥獣が出ることもあり朝晩の外出を控えていることから、各戸にスピーカーを設置して町内会長が集落に放送している。デジタル防災行政無線に関する説明会が12月22日に予定しているが、来年3月までに完成を予定しているのであれば、機種等については既に決定しているのではないか。今さら説明しても話にならない。サービスの低下がないように整備してほしい。

(答 弁)

デジタル防災行政無線の整備は、400mのエリアごとに4方向のスピーカーのものを設置する。また、各戸のスピーカーからも情報が流れる予定である。なお、屋内スピーカーは停電時、放送は流れないが、デジタル防災行政無線にはバッテリーがついているので、停電時に対応している。

備 考	
-----	--